

モニタリング結果報告書 (平成29年度)

1. 施設概要

施設名	(三崎漁港) 宮川特別泊地・宮川一時停係泊特別泊地・宮川環境整備施設		
所在地	神奈川県三浦市三崎町六合地先		
サイトURL	http://miura-miyagawa.com/		
根拠条例	神奈川県漁港管理条例		
設置目的(設置時期)	三崎漁港におけるプレジャーボートの利用増加に対応するため、漁港内に混在するプレジャーボートと漁船を分離・集約し、漁港の多目的利用を推進するため、停係泊施設、駐車場及び管理棟等を設置する。(平成13年10月供用開始)		
指定管理者名	みうら漁業協同組合		
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	施設所管課	水産課(東部漁港事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況はA評価、利用者の満足度はS評価、収支状況はA評価で、3項目評価はA評価となり適正に業務が行われていた。今後とも業務の適切な運営に努めるとともに、経費の節減や施設の利用促進の努力も継続して実施していただきたい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 事業計画に基づいて施設の維持管理、受付、案内、巡視、清掃、保守点検及び利用料金の徴収業務が適切に行われた。</p> <p>◆利用状況 4月と9月及び11月は天候が良かったのでオーナーや釣り客の利用者も多く、駐車場の利用台数が増となり、利用者数は前年比対比で105.6%となりA評価となった。当該施設の利用状況は天候によって左右されやすい面があるが、各種の自主事業に取り組むなど施設の利用促進について努力していた。</p> <p>◆利用者の満足度 施設運営については回答者の100%が満足と回答しており、S評価となった。簡易アンケートは窓口において記入をお願いしたが、協力が得られなかった。今後は更に利用者満足度の向上に努力されたい。</p> <p>◆収支状況 経費のほとんどが人件費であり大幅な節減が困難な中、地道な節減の努力が功を奏し、収入差額は前年度より少し減額であるが前年比対比で100.96%となりA評価となった。今後は、更に経費の節約や利用促進の取り組みにも努力されたい。</p> <p>◆苦情・要望等 指定管理者に起因する苦情・要望等はないが、施設に対する要望などについては県に適切に情報を提供しており評価できる。</p> <p>◆事故・不祥事等 指定管理者に起因する事故はなく、今後も良好な維持運営を継続されたい。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 指摘・指導事項はなかった。</p> <p>◆その他 平成29年度の3項目評価はA評価となった。今後とも適切な管理運営に努めるとともに、より安定した施設利用者数を確保するための工夫を検討いただきたい。</p>	
3項目評価	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	なし
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	週2回程度現場確認	なし
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ <u>無</u>	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
○年度協定書の事業計画において、施設の維持管理に関する業務、施設の運営に関する業務、利用料金の徴収に関する業務に関する具体的な業務内容及び作業頻度が提案されている。	○各業務とも提案のあった作業内容及び作業頻度は満たされており、指定管理業務は適切に実施されていた。 ○施設管理運営状況及び清掃状況について、利用者から100%の評価が得られた。	○今後も適切な運営が望まれる。
○維持管理に関する業務 安全航行に関する規定、気象や海洋情報を利用者が出港する前に確認するよう情報提供する。	○施設利用に関する規定や、気象、海洋情報を見やすい場所に掲示、随時更新、悪天候の場合は利用者に連絡し周知に努めていた。 ○漁業活動に支障が生じない様に、漁港内は漁船が優先であることをオーナーに指導し、施設利用に関するトラブル防止を図った。	○提案どおり適切に行われた。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
*バーベキュー機材一式の貸出	*夏季がピークであり、主体、ゲストバスや地元民、他の市町からの利用が多い。利用実績（貸出機材51セット）510人。前年度より少し利用が増になった。また、10月23日の台風21号の高潮によりバーベキュー機材一式が全て流失してしまったので、今後の営業については現在検討中である。
*小型船舶検査代理立会い、艇の代理管理、	*J C Iの検査代理立会い。（今年度の依頼は6隻ありました）、代理管理3隻と契約、船底清掃の利用頻度は少なかった。
*プレジャーボート責任保険の取次ぎ（漁船保険組合の取次ぎ）	*特別泊地利用者のうち約6割の取次ぎを行った。
*（財）日本海洋レジャー安全・振興協会（BAN）会員加入へ普及啓発	*施設利用者へ普及啓発を随時行い、特別泊地利用者の加入率を約40%とした。
*給水、給油、海産・農産物販売 *貸出	*給水、給油は周年サービスを提供したが、燃料の高騰もあり利用実績はなし。スイカ販売（委託）。 *充電器の貸出を行った。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
A	

	前々年度	前年度	平成29年度
利用者数※	6,808	7,251	7,658
対前年度比		106.5%	105.6%
目標値	6,411	6,808	7,251
目標達成率	106.2%	106.5%	105.6%

目標値の設定根拠： 前年度の年間利用者数
(駐車場利用台数+泊地許可艇出港隻数+一時停係泊地利用隻数)

利用者数の算出方法（対象）： 駐車場：有人による利用料金の徴収実績による
泊地：出入港届（特別泊地）、一時停係泊特別泊地利用届出書から算出

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

駐車場の利用台数及び泊地の利用隻数

6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	＊簡易アンケート→窓口若しくはホームページで随時調査 ＊詳細アンケート→年1回1月頃調査	簡易アンケートは窓口にアンケート用紙を用意し、協力をお願いしたが協力が得られなかった。詳細アンケートは12月末から翌2月上旬に実施した。郵送により施設利用者79名にアンケートを配布し、51.9%の回答を得た。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 ・施設の管理・運営について（施設の管理運営状況+清掃の状況）
 （とてもよい、よい、やや悪い、悪い）

実施した調査の配布方法 郵送 回収数/配布数 41 / 79 = 51.9%

配布(サンプル)対象 泊地利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	14	27	0	0	41	○荒天が予想される場合は、事前にオーナーに連絡を行ったり、安全指導がしっかりしていた。 ○受付、案内の接客の対応が良い。
回答率	34.1%	65.9%	0.0%	0.0%		
前年度の回答数	15	22	4	0	41	
前年度回答率	36.6%	53.7%	9.8%	0.0%		
回答率の対前年度比	93.3%	122.7%	0.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマ イナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	9,466	5,000			14,466	14,466	0	
	決算	9,466	4,715			14,181	14,018	163	101.16%
前年度	当初予算	9,864	5,000			14,864	14,864	0	
	決算	9,864	5,001			14,865	14,714	151	101.03%
29年度	当初予算	9,773	5,000			14,773	14,773	0	
	決算	9,773	5,296			15,069	14,926	143	100.96%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

29年度 /

前年度 /

前々年度 /

<備考>

特になし

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件	該当なし	
	件		
職員対応	件	該当なし	
	件		
事業内容	件	該当なし	
	件		
その他	件	該当なし	
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	①該当なし ② ③ ④ ⑤ ⑥
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無し	
職員の配置体制	無し	
労働時間	無し	
職場環境	無し	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。